

マツキヨココカラ &カンパニー 税務方針

当社グループは、「未来の常識を創り出し、人々の生活を変えていく」をグループ理念としています。また、「マツキヨココカラ &カンパニー行動規範」及び共通の価値観と行動基準である「マツキヨココカラ WAY」に基づき、法令等の遵守及び高い倫理観をもって事業活動を推進しています。当社グループの事業基盤となるすべてのステークホルダーとの公正で健全な関係の構築に向けて、税務に関しても各国の税法及び国際的なルールに基づく適正な納税の必要性を認識しています。

このような考えのもと、当社取締役会による承認を経て「マツキヨココカラ &カンパニー税務方針（以下、本方針という。）」を制定しました。本方針に基づき、納税義務を果たし、税の透明性を確保することで、税務リスクの最小化を図り、企業価値の最大化に努めます。当社グループは、以下の事項を通じて、適正かつ公正で透明性の高い税務対応を行います。

1. 適用範囲

当社グループのすべての役員・従業員に適用します。

2. 法令等の遵守

当社グループは、活動するすべての国・地域の税務関連法令等を遵守し、その精神を尊重して、納税義務を果たすことで社会の発展に貢献します。OECD の BEPS（Base Erosion and Profit Shifting：税源浸食と利益移転）プロジェクト等の国際的な税務に関するルール等にも準拠して事業活動を行います。

また、税務関連法令等の遵守及び税務マネジメントを適切に行うために、財務報告に係る有効な内部統制システムを構築・運用するとともに、継続的に評価し改善を行います。さらに、会計監査人による監査並びに監査役会がその有効性を定期的に評価し、確認を行います。

3. 透明性の確保

当社グループは、活動するすべての国・地域の関連法規や会計基準、開示関連規則に従って情報開示を行い、すべてのステークホルダーに対する税の透明性を確保します。

4. 税務プランニング

当社グループは、タックスヘイブンとみなされる地域を利用した租税回避や事業実態を伴わない優遇税制の利用は行いません。

5. 税務リスクの最小化

当社グループは、活動するすべての国・地域において、税制や税務行政の変更等の国内外の環境変化やレピュテーションリスク等を含む税務リスクを最小化することに努めます。事業活動における税務リスク、税法の解釈や税務上の取扱い等に対しては、専門家からのアドバイスを受けて事前に十分な検討を行うとともに、必要に応じて税務当局へ確認を行います。

6. ガバナンス体制

当社グループは、当社取締役会による監督のもと、税務マネジメントを適切に行います。税務に関する重要な項目については、適宜取締役会へ報告し、議論を行うとともに、監査役及び監査役会に対しても、同様に報告します。これらにより、税務ガバナンスの維持・向上に努めます。

7. 税務当局への公正な対応

当社グループは、活動するすべての国・地域の税務当局に対して誠意をもって公正に対応することで、税務に関する透明性と信頼性を確保するよう努めます。

また、税務当局の要請に対しては、適時かつ適切な情報提供を行い、信頼関係の構築に努めます。

2025 年 2 月

株式会社マツキヨココカラ & カンパニー

代表取締役社長 松本 清雄